

健康オフィスを評価する国際基準「WELL認証」

◆WELL認証は、人間の健康に焦点を当てた国際的な環境評価システム

働く人の健康や快適性に配慮したオフィス環境や大型施設への関心が高まっている。定量的に測定しにくい「健康オフィス」の指針となるのが「WELL認証（WELL Building Standard™）」で、2021年7月、鹿島建設の技術研究所本館研究棟がWELL認証の最高ランク「プラチナ」を取得した。

「WELL認証」は人間の健康に焦点を当てた国際的な環境評価システムで、14年に米国で始まり、6年間で世界58カ国（20年2月時点）に広がり、世界に425件、国内に12件（うち10件が研究所を含めたオフィス系の施設）の認証事例をもつ。評価項目は「空気」「水」から「イノベーション」まで11のカテゴリーに分かれ、24の必須項目と95の加点項目があり、書類審査と実地性能検査を受ける。

鹿島建設の場合、ヒートアイランド現象を緩和するため屋上に庭園を設置したほか、光や音などの能動的な環境制御を融合させて五感に訴える「そと部屋」（19年に開発）が先進的な取り組みとして高い評価を受けた。

健康的に働ける環境を評価するWELL認証の評価項目

	必須		加点			
 空気 AIR	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な空気質 禁煙 	<ul style="list-style-type: none"> 機械換気(基本性能) 後付け設置の場合 	<ul style="list-style-type: none"> 基準の強化 エントランス 換気強化 	<ul style="list-style-type: none"> 開閉窓 燃焼の最小化 フィルター性能 	<ul style="list-style-type: none"> IAQセンサ&見える化 発生源の分離 外気導入の強化 	<ul style="list-style-type: none"> カビの管理
 水 WATER	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な水質 飲水の品質 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な水質管理 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い設備 飲水の厳しい基準 湿気の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い 飲水の管理 ウォーターサーバー 		
 光 LIGHT	<ul style="list-style-type: none"> 昼光設計と評価 照明設計と評価 		<ul style="list-style-type: none"> 昼光の厳しい基準 サーカディアン照明 採光デザイン 	<ul style="list-style-type: none"> 採光デグレア制御デザイン 視覚的なバランス 電灯の品質 		
 音 SOUND	<ul style="list-style-type: none"> 音響ゾーニング 		<ul style="list-style-type: none"> 最大騒音レベル サウンドマスキング 吸音性 	<ul style="list-style-type: none"> インバクトノイズ 残響時間 AV音声明瞭度 	<ul style="list-style-type: none"> 遮音壁 聴覚サポート 	
 温熱快適性 THERMAL COMFORT	<ul style="list-style-type: none"> 温熱環境の評価 		<ul style="list-style-type: none"> 温熱アンケート 温熱ゾーニング 温熱モニタリング 	<ul style="list-style-type: none"> パーソナル空調 湿度制御 輻射パネル空調 		
 心 MIND	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルスの促進 自然とのつながり 		<ul style="list-style-type: none"> メンタルサービス 修復機会 メンタルヘルス教育 	<ul style="list-style-type: none"> 休憩スペース ストレス管理 回復プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙 自然へのアクセス 薬物使用 	
 コミュニティ COMMUNITY	<ul style="list-style-type: none"> 健康と福祉の促進 居住後評価 	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダー 緊急事態への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 健康サービスと福利 利用者調査 地域エンゲージメント 	<ul style="list-style-type: none"> アクセスビリティ 健康と福祉の促進 責任ある労務管理 	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ 緊急時リソース 新しい親の支援 DV対策支援 住民への公平性 緊急時の抵抗力と回復 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい母親の支援 家族へのサポート
 材料 MATERIAL	<ul style="list-style-type: none"> 材料の制限 室内危険物の管理 	<ul style="list-style-type: none"> CCA・鉛管理 	<ul style="list-style-type: none"> 材料制限の強化 廃物の管理 サイトの評価 	<ul style="list-style-type: none"> 内外装材のVoC 外注管理と薬品 建材の透明性 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃洗剤の指定 自然建材の選択 接触面の低減 	
 栄養 NOURISHMENT	<ul style="list-style-type: none"> 果物と野菜 栄養情報開示 		<ul style="list-style-type: none"> 糖類制限 健康的分量 食事環境 	<ul style="list-style-type: none"> 食事広告 栄養教育 食品生産 	<ul style="list-style-type: none"> 人工的原料 心豊かになる食事 食品生産ガーデン 特別食 地元の食品環境 赤身肉と加工肉 	
 運動 MOVEMENT	<ul style="list-style-type: none"> V3-5.8のいずれか 1.視覚 2.昇降車 		<ul style="list-style-type: none"> 階段促進 運動の機会 自転車促進 	<ul style="list-style-type: none"> 昇降車など強化 歩行者推進 運動インセンティブ 	<ul style="list-style-type: none"> 運動スペース セルフモニタリング エルゴノミクス・プログラム 	
 イノベーション INNOVATION			<ul style="list-style-type: none"> WELLのイノベーション WELL APの参加 WELL教育 	<ul style="list-style-type: none"> ウェルネスへの入口 グリーンビルディング評価システム 		

資料提供：パナソニック株式会社エレクトリックワークス社「WELL認証の基本まとめBOOK」

◆大手ゼネコン各社は、自社施設の認証取得で健康オフィスのノウハウを蓄積

国内で初めてWELL認証を取得したのは、大林組の技術研究所本館テクノステーションで、17年12月に「ゴールド」ランクを取得した。同社は現在、横浜市内に11階建ての自社研修施設を建設中（22年3月竣工予定）で、「純木造高層ビル」として注目されている。同社が開発した耐火木造部材を柱と梁に採用しており、サーカディアンリズム（体内時計）に合わせて調光・調色する照明を導入して集中力向上や緊張緩和を図るなど、健康推進への取り組みも行っている。完成後には生体データを基に効果を実証し、WELL認証の最高ランク「プラチナ」の取得を目指している。

また竹中工務店は、同社が設計施工した独身寮で、21年2月WELL認証の「シルバー」ランクを取得し、西松建設も本社オフィスでWELL認証の年内取得を目指している。このように大手ゼネコン各社は、昨今の健康経営への関心の高まりもあり、WELL認証取得で健康オフィスに関するノウハウや知見を蓄積している。

◆WELL認証取得支援サービスも登場

20年6月には、新型コロナウイルス感染拡大を受け、WELL認証の派生的な認証制度として「WELL Health-Safety Rating（健康安全性評価）」（以下WELL H-SR）も新設された。WELL認証同様、「国際WELLビルディング協会」（IWBI）が認証しており、感染症対策の評価に特化したもので、「換気の維持」や「空気質や水質の監視」「手洗いのサポート」など27項目のうち15項目以上の合格で取得できる。

パナソニック株式会社エレクトリックワークス社は、今後日本でもWELL認証やWELL H-SRの取得が加速すると予測し、21年7月から認証取得支援サービスを展開（<https://www2.panasonic.biz/ls/solution/office/genre/well-certification/>）している。WELL認証は最大3年で更新する必要があるメンテナンスの支援も行う。

同社は21年1月、大阪のシステムソリューション開発センターがWELL認証のゴールドを取得し、さらに3月には東京汐留ビル内のオフィスが二酸化炭素濃度を監視するシステムや、天井から床に向かって空気を流す「ダウンフロー気流」などの最新設備の導入が評価されてWELL H-SR認証も取得している。

働く人の健康や生産性向上のみならず、企業価値の向上にもつながることからWELL認証制度への注目は、今後も高まると思われる。 【秋元真理子】